

# NPOグリーンオフィスさやま・10年のあゆみ

NPOじおすが法人として登記されたのは2003年の4月のことです。昨年の4月で満10年を迎えました。ここで10年の歩みを紹介しておくことにします。詳細は次頁の表をご参照ください。

## ●NPOじおす設立のねらい

コミュニティ活動の中核をなしてきた緑化本部からNPO設立に向けた検討を関係者に働きかけ、学習会を経て、そのイメージを固めていきました。最終的には、新狭山ハイツで長年培われてきたコミュニティ・マネジメント力を活かしつつ、“安心して楽しく住み続けられる街・コミュニティづくり”をめざし、公益的な事業に積極的に取り組む母体として、「特定非営利活動法人グリーンオフィスさやま」を設立しました。

## ●NPOのもとで多様な担い手が連携し活動

NPOじおす発足時は、従来からあった「緑化本部」「わくわく自然園を守り育てる会」「生ごみリサイクルを進める会」「楽農クラブ」「手作り工房」が中心でしたが、新たに「おはなし・てづくり・ねっと」「印刷工房（後に編集工房に改称）」「情報工房」「映像工房」が加わりました。その後、休眠状態だった「たすけあいの輪」をNPOのもとで再開したり、「リサイクル（アルミ缶）の会」を引き継いだりしました。そして、最近になって、コミカフェ「ココベリー」が加わり、下図に示す現在の体制になりました。

## ●高まる活動への関心、広がる対外的な活動

ハイツが取り組んできたコミュニティ活動は対外的に高い評価を受けてきました、加えて団地発NPOが珍しいこともあり、外部から環境保全、地域・コミュニティの活性化、地域福祉に関わる事例紹介、講演依頼、マスコミの取材、委員就任などの機会が増えました。また、団地外の活動に参加協力する機会も増えました。こうしたことはハイツのPRになるだけでなく、外部とのネットワークを広げたり、取り組みを相対化する良い機会になっています。

## ●将来の地域課題に向き合う事業に着手

ハイツでは早くから、建替えせずに修繕しながら築70年以上を住み続けることを決めています。しかし、“建物の老い”に対しては長期修繕計画などでフォローされてきましたが、“住み手の老い”への対応については具体的な対策がありませんでした。そこでNPOじおすから「新生ハイツ35年プラン」を検討してみませんかと提案し、これまでのハイツの取り組みを振り返るとともに、これからの地域課題を掘り起こす作業を始めました。そんな矢先に、埼玉県で地域課題解決型協働事業が起案されたことを知り、応募し採択されました。その後、住民福祉の充実、環境の付加価値化、文化的環境の向上、情報発信の強化などをテーマに、今後の対策を検討しつつ、一部対策については試行・実施もしてきました。詳細は次頁の「10年の歩み」をご覧ください。

図一NPOじおすの事業（5）と担い手（13）



会員数=97名（正会員47名、賛助会員46名、法人会員4社）

年 度	主な取り組み	備 考
2001 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ NPOに関する学習会（12～3 月、4 回）</li> </ul>	
2002 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ NPO設立準備会（7 月、発起人会）、住民説明会（9 月）、設立総会（11 月）、設立申請（11 月）</li> </ul>	
2003 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 法人登記（4 月）、発足式（5 月）</li> <li>・ サテライト、HP、電話開設</li> <li>・ NPOじおす瓦版の発行（年 2 回）を開始</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ さやま環境市民ネットワーク設立に参加</li> <li>・ わくわく自然園を守り育てる会「第 8 回狭山市茶の木賞」を受賞</li> </ul>
2004 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第 1 回通常総会を開催</li> <li>・ 堀兼小学校の地域子ども教室への協力を開始</li> <li>・ 自治会の「新狭山ハイツ電話帳」の製作を支援</li> <li>・ 中古の軽トラを購入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新潟中越地震、スマトラ島沖地震に義援金（4 万円）</li> <li>・ 緑化本部・第 2 回花いっぱいコンクール（団体の部）で最優秀賞表彰</li> <li>・ 雑誌「家とまちなみ Vol23, No1」に“セルフエイドによるまちづくり 30 年の歩み”を寄稿（毛塚）</li> </ul>
2005 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 緑化本部が発足 30 周年記念事業を実施（バス回転広場修景、塗り壁ワークショップ、9 号棟南側花壇改修、戸口整備支援）</li> <li>・ 休眠状態の「たすけあいの輪」をNPOのもとで再開</li> <li>・ 講演会「明日の高齢者福祉・少子社会を考える」（講師：吉田政子氏）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 埼玉県社会福祉協議会主催の研修会「小地域における福祉ネットワークづくり」でハイツの取り組みを紹介</li> <li>・ 市内の管理組合が交流し学び合う機会を市と共催で設けることを模索（つつじ野団地管理組合と連携）</li> </ul>
2006 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生ごみリサイクル事業が補助事業から市の業務委託事業に変更（生ごみリサイクルを進める会）</li> <li>・ わくわく自然園を改修（わくわく自然園を守り育てる会、財団法人サイサン環境保全基金の助成金 40 万円を活用）</li> <li>・ 隣接の民有林を「ふれあいの森」としての管理を開始（緑化本部）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 狭山市みどりの基金に 3 万円を寄付</li> <li>・ 山岡淳一郎著「マンションが廃墟になる日」（日経 B P 社発行）で「優等生コミュニティの挑戦」としてハイツの紹介あり</li> </ul>
2007 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ アルミ缶集回収を開始（リサイクルの会）</li> <li>・ ハイツの魅力をアピールし、ハイツへの転入を促す「新狭山ハイツからのメッセージ」を作成</li> <li>・ 講演会「もしもの時にそなえて」（講師：須齋美智子氏）を開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ NPO さやま環境市民ネットワークに加入（毛塚が副代表理事、土淵が理事に就任）</li> <li>・ 堀兼ふるさとマップづくりに参加協力（毛塚）</li> <li>・ 故丸山嘉秀氏のご遺族より 20 万円の寄付あり</li> </ul>
2008 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自治会広報誌「はいつニュース」の企画・編集・印刷の支援を開始</li> <li>・ 自治会の「新狭山ハイツ電話帳」製作を支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 埼玉県みどり再生県民会議委員に就任（毛塚）</li> <li>・ さいたま緑のトラスト協会理事に就任（毛塚）</li> <li>・ 埼玉県グリーン・ツーリズム協議会理事に就任（毛塚、2012 年度から理事長）</li> </ul>
2009 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第 3 回大規模修繕工事着手に関連し、たすけあいの輪で粗大ごみ出しや宅内の整理整頓を支援</li> <li>・ 講演会「建物の古いと住み手の古いへの挑戦」（講師：山崎淳一郎氏）を開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生ごみリサイクルを進める会・第 41 回シラコハト賞受賞</li> </ul>
2010 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第 1 回ハイツ手作り作品展を開催</li> <li>・ 新生ハイツ 35 年プラン検討会（7 回）を開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 東日本大震災義援金として 5 万円を寄付</li> <li>・ NPO さやま環境市民ネットワークのマイタウンソーラー発電所 1 号機建設事業に 3 万円を寄付</li> </ul>
2011 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「新生ハイツ 35 年プランづくりとその推進」が埼玉県地域課題解決型協働事業に採択（3 年間の初年度）</li> <li>・ 埼玉大学共生社会教育研究センターによる「ハイツのコミュニティ形成に関する調査」に協力</li> <li>・ 講演会「希望のつくり方」（講師：玄田有史氏）を開催</li> <li>・ 講演会「集合住宅に求められる新たな共同性とは」（講師：竹井隆人氏）を開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 狭山市協働事業ガイドライン策定市民検討会委員に就任（毛塚）</li> <li>・ 狭山元気大学運営委員会委員に就任（毛塚）</li> <li>・ NPO まちづくり助っ隊主催の「団地再生懇談会」に参加（毛塚）</li> <li>・ 日本建築学会関東支部埼玉支所主催の埼玉住まい・まちづくり交流展 2011in 志木で「新生ハイツ 35 年プランづくり」を講演（毛塚）</li> </ul>
2012 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「新生ハイツ 35 年プランづくりとその推進」が埼玉県地域課題解決型協働事業（2 年度目）</li> <li>・ 改正 NPO 法の施行を受け、理事の代表権の制限を法人登記</li> <li>・ 第 2 回ハイツ手作り作品展（2 日間）を開催</li> <li>・ 里親制度を活かしたふれあい花壇の整備に着手</li> <li>・ ブックスタート事業を開始</li> <li>・ コミカフェ「ココベリー」の試行を開始</li> <li>・ HP のリニューアル、ハイツ情報のアーカイブス化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 狭山市の「地域福祉推進パネル展」に参加</li> <li>・ 多摩 CB ネットワーク主催の多摩コミュニティビジネスフォーラム 2012 で「元気な地域の創造—自治会と NPO の連携によるいきいきとしたコミュニティづくり」を講演（毛塚）</li> <li>・ NPO さやま環境市民ネットワークのマイタウンソーラー発電所 2 号機建設事業に 1 万円を寄付</li> </ul>
2013 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第 10 回通常総会を開催</li> <li>・ 「新生ハイツ 35 年プランづくりとその推進」が埼玉県地域課題解決型協働事業（3 年度目）</li> <li>・ コミカフェ「ココベリー」保健所の営業許可を取得</li> <li>・ 買物支援サービスを試行、本格実施</li> <li>・ NPO 創立 10 周年記念のつどい（埼玉県地域課題解決型協働事業報告会 &amp; 講演会）の開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ （仮称）市民大学開設準備委員会委員に就任（毛塚）</li> <li>・ NPO さやま協働ネット代表理事に就任（毛塚）</li> <li>・ 狭山市地域福祉推進会議のもとに設置された「有償福祉サービス推進部会」及び「多機能型サロン活動推進部会」に参加（毛塚、中村）</li> <li>・ 増永理彦著「マンション再生—二つの“古い”への挑戦」で“居住資源の徹底活用事例”としてハイツの紹介あり</li> </ul>

